

(5) ア. バス会社の提案

バスシステム委員会への関東自動車株式会社への提案

	委員会を進める中で何をすべきか	具体例	進め方 (ワーキンググループ)
ニーズ情報	<ul style="list-style-type: none"> ■ ニーズの把握・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ 域内交通ニーズ (支線バス、コミュニティ系) ・ 域間交通ニーズ (基幹バス、準基幹バス) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関東として把握しているニーズ ■ 今後ニーズを広範囲に集めていく <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域アンケータ ・ 乗り込みアンケート ・ バスモニター ・ グループデイスカッション 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域全体のニーズ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ネットワークの方向性</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">行政との連携によるニーズの充足</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">部分的・質的ニーズ (環境・少子高齢化・まちづくりへの貢献)</div>
ネットワークの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宇都宮市が目指す公共交通ネットワークの将来イメージをバスで実現するための方策 ■ 模範事例の学習 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連節バス(藤沢・幕張) ・ 活性化事例 (伊予鉄・山梨交通・函館バス) ・ 複数交通モードのコラボレーション (行政主導型:盛岡市) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 路線にメリハリをつける <ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹バス(連節バス) + 支線バス + コミュニティ系 (循環バス + 乗合タクシー) ・ 交通結節点の整備 (乗換抵抗の低減) ・ 目的及びニーズに応じた直通バス ・ 深夜バス ・ レイニーバス 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">路線ネットワークWG</div>
利用者目線	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスサービスの理解促進とバスによる地域への情報発信 ・ バス待ち環境の改善 ・ バスの使いやすさの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフラ改善 ・ ハイグレードバス導入検討 ・ C&BR導入拡大と効果検証 ・ バスロケの必要性確認 ・ (ICカード) 	<div style="display: flex; justify-content: space-between; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">顧客満足度向上WG</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">IT化WG</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ICカードWG</div> </div>
走行環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 速達性・定時性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専用レーン ・ PTPS ・ 歩車分離信号 ・ JR宇都宮駅西口ターミナルへの提案 (横断歩道・一般車乗入対策) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">走行環境WG</div>
車両	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢化対策 ・ 輸送キャパシティの拡張 ・ 環境対策 ・ 乗降時間短縮化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低床化車両の推進 ・ 連節バスの検討 ・ ハイブリッド車両・CNG車両 ・ 後乗り前降りの検討 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">車両WG</div>

(注)

- ・ 具体的に何をするかによって複数のWGを跨ぐことがあるため、WG間の意見調整は十分に留意する必要がある
- ・ 各WGにて、時間のかけ方、行政・事業者・利用者の役割分担(資金負担を含む)を検討する必要がある

バスシステム検討委員会における当社の提案

東野交通株式会社

【当社の現状と課題】

当社の宇都宮市内における路線バス事業は、宇都宮東武を起・終点として真岡方面及び平出工業団地を含む宇都宮市北東方面を主に運行しており、全25系統となっております。

路線バス事業においては、年々乗降客が減少し経営環境が厳しくなっており、特に最近では原油価格の高騰に伴う諸経費がアップするなど、自助努力による対応のみでは限界となっており、関連事業であるロープウェイ事業等での黒字により補填をしながら、路線バス事業の運行・維持を確保している状況にあります。

このことから、企業として路線バス事業への積極的な投資は現状では厳しく、具体的な打開策が見出せない中、将来において路線バス事業での採算確保を図っていくことが今後の課題であります。

【基本的な考え方】

このような状況下、先般「宇都宮市都市・地域交通戦略策定協議会」が開催され、宇都宮市が目指す「将来公共交通ネットワーク」の考えが示されました。

当社としても、今後益々進む高齢社会に対応するうえで、バスの果たす役割は大きいものと認識しており、その責任を痛切に感じているところです。

このことから、今後宇都宮市とともに「将来公共交通ネットワーク」策定の議論を進めてまいりたいと考えております。

なお、現状のバスの利用者を前提とすれば、我社が担うであろうフィーダー部分の営業により採算を確保していくことは厳しいものと認識しておりますことから、バス事業者と行政との適切な役割分担は一定必要であると考えております。

また、現状をどのように改善し、利用者を増やしていくのかは喫緊の課題であることから、具体的な取り組みを以下のとおり考えます。

【具体的な施策】

○利用者の視点

バス停の改善（リニューアル、上屋の設置、ベンチの設置等）

駐輪場の設置

増便

低床バスの導入

バスロケの設置

○経営的視点

効率的な運行体系

需要に見合った規模のバス導入

○環境への配慮

新型バスの導入（低公害車）

専用、優先レーン（定時走行による環境負荷の低減）

○需要喚起

公共交通利用の意識啓発（MMでの取り組み）

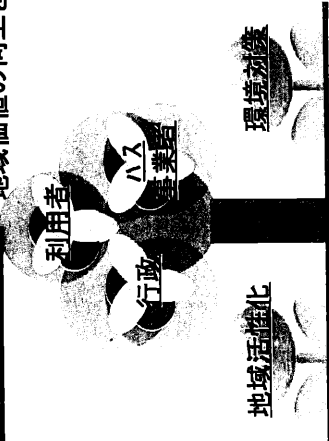
新規路線の開拓（需要が見込めるエリアへの導入）

※具体的な施策の中には当社単独では対応できない施策を含んでいることから、今後宇都宮市との協議を含め検討してまいりたい。

バスシステムの考え方について

コンセプト

ステークホルダーが連携して、地域価値の向上を目指す



TDM施策の検討について

交通調査等を実施し、交通マネジメントの実施可能性について検討する

目指す方向性

オムニバスタウン

バスの有する多様(オムニ)な社会的意義(人・まち・環境に優しい)が発揮されることにより、快適な交通、生活の実現を目指すまち

EST (Environmentally Sustainable Transport)

環境的に持続可能な交通(EST)
人々に対し未来の交通のあるべき姿を示すことにより、人々の意識改革を促し、環境負荷の少ない交通行動や生活様式を選択することを期待

バス停留所

バクレートバス停



バスケーシングシステム



交通システム

BRT (Bus Rapid Transit)

・基幹バス(連接バス)



MOCS

(Mobile Operation Control Systems)

・車両運行管理システム
(所要時間表示 バス接近表示)



PTPS

(Public Transportation Priority Systems)

・公共車両優先システム

バス専用・優先レーン

パーク&ライド サイクル&ライド

車両等

低公害車両導入

(ハイブリッド車・CNG車)



バリアフリー

ユニバーサルデザイン



車内情報システム

(乗客案内・所要時間
地域情報)



車内空間の創造

(荷物置き場・ベビーカー
座席空間の改善など)

